



第10回 ジャパン・インターナショナル・シーフードショー

The 10th Japan International Seafood & Technology Expo

English page here!

トップ

特別招待状(無料)受付中!

開催のご案内

開催概要

出展募集要項

前回出展者一覧

出展者の皆様へ

2007年度 結果分析

New!
同時開催
セミナー・シンポジウム

併設開催
すしEXPO

併設開催
海の浄化技術展

シーフードショー・ニュース

会場のご案内

お問い合わせ・資料請求

消費者の皆様を
特別“限定”でご招待します!

“おさかなモニター”募集中心!!
お申込みはこちら



【講演内容】 これからの回転寿司の新サービスとどうあるべきか？
その方向性や実際に役立つアイデアなどを提案したいと思います。
日々、全国の回転寿司店を食べ歩き、様々な店舗を見てきた視点から、「生きた提案」
ができれば幸いです。

自動車から見た—船用原動機の将来と開発中の“ディーゼル・エンジン燃焼システム”の概要

すし&シーフード
セミナー(会場)

【主 催】 日本オイルセイバー株式会社

お申込みは
こちらから!

【講演者】 (株)技術開発総合研究所 代表取締役所長 本望 行雄
{生誕} 1946年04月24日 {出生地} 新潟県新津市



{学歴} 1967年 東京都立航空工業短大・航空原動機科卒(都立科学技術大学を経て、(現)首都大学東京に統合)

{職歴} 1967年 上智大学理工学部機械工学科捕手、助手(=主として、自動車用エンジンの研究開発に携わる)を経て、1988年、中小製造企業の技術育成と発展を理念として、(株)技術開発総合研究所、1998年 総合技術研究所有限公司(GENERAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE Ltd)(香港)を設立し、特許(含む、申請中)=50件、商標=20件、ドメイン=100件を創出し、現在に至る。

{学会}(社)自動車技術会 評議員、(社)自動車技術会 関東支部理事 (社)自動車技術会フェロー(2004年06月04日)。<<【註】(社)自動車技術会は、文部科学省、経済産業省、国土交通省の三省所轄で、43,000名の会員と約60年の歴史を有する学会!>>

{賞罰}(1)(社)自動車技術会 関東支部功労者表彰(支部活動)(1990年06月)、(2)(社)自動車技術会 功労者表彰(1997年05月)、(3)第一回つばテクノロジージャーネー(工崎玲於奈理事長)ベストインデクシング賞(2002年01月)、(4)平成13年度工業技術開発奨励賞(財)茨城県中小企業振興公社(2002年03月)等。

【講演内容】 現在、石油価格の高騰は大きな問題で、自動車では、(1)ガソリン/軽油代替燃料、(2)充電電池(リチウムイオン電池等)、(3)(水素)燃料電池等々の将来エネルギーへの転換・模索が急ピッチで進捗中である。一方、漁業関係でも、イカ釣り漁船を始めとして、燃料経費の増大は船舶の運航にも、大きな支障を来しているといえます。そこで、自動車から見た、“船用原動機の将来”を概説し、現在、『アイスマン(株)(発売元:日本オイルセイバー(株))(福岡県久留米市)』と商品開発中の、緊急対応技術について紹介したい。

(株)技術開発総合研究所は、エンジンの興した—GE(ゼネラル・エレクトリック)から、日本で話を聞きたい13社の中の一社に選ばれ、「GE Japan Technology Forum(2007年10月09日開催)」にて、・超混合技術、・超熱交換技術、・“水”から“水素”を製造するための、ISプロセス用—『極限環境ポンプ』技術等々、約10種の開発技術を紹介した。

これらの技術を活用して、船用ディーゼル・エンジンの燃料高騰に対処するために、(1)C重油、菜種油等々の各種燃料を適用可能とする—「UCF(Ultra-Cloud Fuel—超雲状燃料)システム【Ultra-Cloudは、登録商標】」や、更には、C重油の燃焼改善を図りつつ、(2)LPGやLNG等を、“ディーゼル・エンジン”に適用する—『MBF(Micro-Bubble Fuel)システム』の概要について紹介する。

12:00~
12:45

食文化となった寿司の歴史と、その奥深い調理技術

すし&シーフード
セミナー(会場)

【主 催】 全国水産生活衛生同業組合連合会

お申込みは
こちらから!